



Wilhelm・Conrad・Röntgen
 ヴィルヘルム・コンラート・レントゲン
 1895年 X線発見

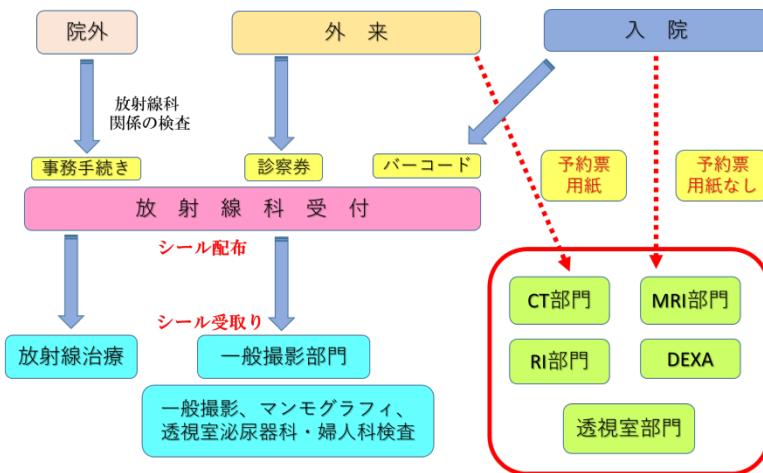
放射線だより

2021年12月
 No.9 (毎月発行)
 担当: 馬場俊明

from Radiation House

今年度より、放射線科受付業務の拡充を行いました。以前より患者さまや外来および病棟から意見をとりまとめ放射線科の各部門と話し合いを行い、患者さまへ検査のスムーズなご案内や待ち時間の短縮、ラベルシール発行により検査時に患者間違いの減少にも繋がります。

改定前

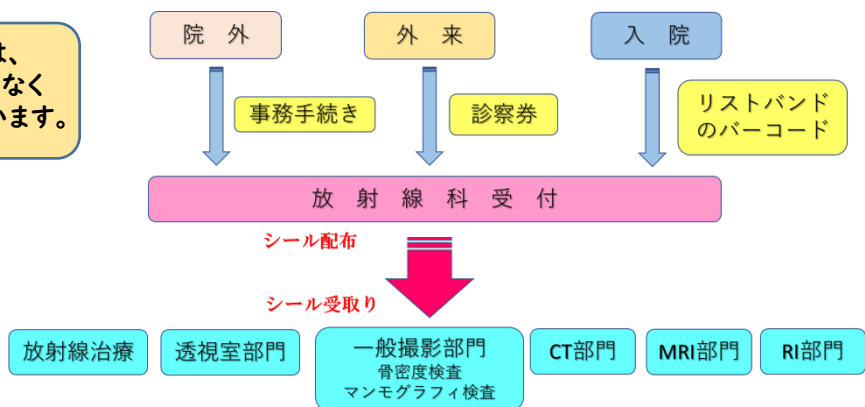


・予約票を失くした、忘れてしまった…
 ・検査が沢山あって場所がわからないなあ？



改定後

外来の患者さまは、予約票(用紙)ではなく診察券で受付を行います。



*一部の検査で業務の運用上、現状維持で行うものがあります。

入院中に検査を行う患者さまでリストバンド未装着の方が時々いらっしゃいます。放射線科受付では、患者誤認防止のためバーコードリーダーでの読み取りが必須になっています。安全で確実な検査を行うためリストバンド装着の徹底にご協力をお願い致します。



文責: 鶴岡 伸一

よりよい画像を提供するために ～マンモグラフィ～



診療放射線技師は、放射線を用いた検査や治療を行う国家資格ですが、職能団体や関連する学会による様々な認定資格も設けられています。今回はマンモグラフィに関する認定資格を紹介します。

検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師



日本乳がん検診精度管理中央機構が
診療放射線技師に与える認定です。
認定を取得するには、講習会を受講し、
筆記試験と読影試験に合格する必要があります。
認定取得後は**5年毎**に更新試験を
受けなければなりません。
現在当院では、**6名**の認定技師が在籍し
ています。今後さらに増える予定です。

マンモグラフィ検診 施設・画像認定施設

施設認定を取得するには、日本医学放射線
学会の仕様基準を満たした装置を有し、
定められた画質基準を満たしていることが
要求されます。書類審査、画像評価、
線量評価に合格しなければなりません。

認定取得後は**3年毎**に再評価を受ける
必要があります。

次回の再評価は2023年6月を予定しています。



私たち診療放射線技師は、マンモグラフィの効果が十分に発揮され、よりよい画像を提供できるよう、今後も撮影技術と読影力の向上、装置の精度管理に努めていきます。 (文責：生田)